

**CRUZARD**

# ガソリン携行缶 取扱説明書

裏面の「取り扱いガイド」もお読みください

KHK認証取得

消防法適合品  
火気厳禁

第四類 第一石油類 危険等級II

この度は、ガソリン携行缶をお買い求めいただきましてありがとうございます。この「取扱説明書」はガソリン携行缶を安全にご使用いただく為のガイドブックです。弊社製ガソリン携行缶を初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも、知識や操作方法を再確認する上でお役に立つものと考えております。この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容を理解された上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置かれて作業されることをお勧め致します。

※この取扱説明書に記載されているイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



**ガソリンは揮発性の高い危険物です。下記の要綱は必ず守ってください。また、変形したガソリン携行缶は、安全上の理由により使用しないでください。**

**重要**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的（車両等）損害の発生が想定される内容を示しています。

- ガソリン携行缶には、規定容量以上のガソリンを入れないでください。
- ガソリン携行缶は、給油口が上向きになるように常に平らな場所に置いてください。
- ガソリン漏れ防止の為、キャップ、エアーアジャストメントは最後まで確実に締め付けてください。
- ガソリン携行缶には、ガソリン、軽油、灯油、混合油等（第四類 第一石油類 危険等級II）以外の物は入れないでください。缶内部が詰まる恐れがあります。
- キャップをはずす時は、ガソリン携行缶を上向きに平らな場所に置いてから、先ずエアーアジャストメントをゆるめ、ガソリン携行缶内の圧力を調整してからキャップをゆるめ、中のガソリンがこぼれないことを確認してください。
- ガソリン携行缶を搬荷、移動した場合には、先ずエアーアジャストメントをゆるめ、ガソリン携行缶内の圧力を調整してから、再びエアーアジャストメントを確実に締めてください。
- キャップ、給油ノズルのパッキンが劣化したり、破損した場合には、ガソリン漏れの危険がありますので、部品を交換してください。
- ガソリンを使用する前に「キャップ、給油ノズル、エアーアジャストメント等」確実に脱着できるか必ず確認してください。不具合があった場合はただちに使用を中止してください。

**重要**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的（車両等）損害の発生が想定される内容を示しています。

- キャップ、給油ノズルの開閉時には、指等はさまないように十分注意してください。
- ガソリン携行缶にガソリンを入車等で移動される時は、必ずボリエチレン袋又は、受け皿に體で保管・移動してください。特にトラック等の荷台にのせて移動する際は、すべり止め（ゴムマット等）を利用して、ガソリン携行缶底部が損傷しないよう保護してください。
- ガソリン等が車体に付着した場合、ただちにウエス等で拭き取ってください。
- 誤って皮膚に付いた場合は、ただちに石鹼等で十分に洗浄し、異常があれば医師の診察を受けてください。



取り扱い時、注意する内容を示しています。

- ガソリン携行缶内部に詰め止め剤を吹き付けていますが、使用上には問題ありません。
- 空のガソリン携行缶を長期間保管する場合には、キャップをゆるめておいてください。パッキンの劣化を軽減することができます。
- ガソリン給油の際、こぼれたガソリンが胴体モールディングのすき間に入り、床等を濡らす恐れもありますので、すぐに拭き取ってください。
- ガソリン携行缶にガソリンが付着した場合、色落ちする恐れがありますので、すぐに拭き取ってください。

**ご使用前に** 本製品を使用する前に「キャップ、給油ノズル、エアーアジャストメント等」確実に脱着できるか必ず確認してください。  
不具合があった場合はただちに使用を中止してください。

**給油時及び使用後の注意** 使用する前に準備する物：ウエス、手袋（車載する場合はトレイ、ポリ袋）

① ガソリンは非常に危険な液体です。給油前に周囲の安全を必ず確認してください。給油されるお車・発電機等のエンジンを切ります。特に発電機や草刈り機等はエンジンを冷ましてください。  
※静電気にはご注意ください。



② 傾きのない平らな所に置き、必ずエアーアジャストメントで内部の圧力を調整してください。



⚠ 警告

内部の給油キャップを開けると中身が

かき出る恐れがあり

非常に危険です。

必ず圧力を調整してください。

③ ゆっくりとキャップをはずし、給油ノズルを取り付けしっかりと締めてください。こぼしたり、人体に付着しないよう注意深く、慎重に給油してください。  
※万が一の為、手袋等をはめる事をおすすめします。



④ 給油後はウエス等できれいに拭き取ってください。

ガソリン携行缶内にガソリンが残る場合は、キャップ、エアーアジャストメントをしっかりと確実に締めてください。

※空の状態で保管する場合はハッキンの劣化を防ぐ為、少しキャップをゆるめてください。

⑤ 次回使用する際は、下記の手順を行い使用してください。

中身がある場合

使用前に必ず

エアーアジャストメントで

内部の圧力を

調整してください。

※圧力を調整時も火気厳禁です。

中身がない場合

給油前に、パッキン・キャップ・

エアーアジャストメント・給油ノズル・

本体に損傷、内部に詰び、異常

等がないか確認してください。

劣化部品（特にパッキン等）はお取替えの上ご使用ください。

⚠ 注意

ガソリンにも

水分は含まれています。

ガソリンは長期保管は缶の

内部が詰び、損傷する原因に

なり、缶が使用できなくなります。

ガソリンも劣化します。

長期保管したガソリンは

エンジンに影響を与える

恐れがありますので

使用しないでください。

少量のガソリンを残す

ガソリンが氧化し、

内圧の変化で缶が変形する

恐れがあります。

## ガソリンスタンドでガソリンや軽油を容器で購入する際の注意事項

**ガソリン購入時には本人確認、使用目的の確認を行なうことが消防法で義務づけられています。**

ガソリン携行缶に給油できるかどうかは、ガソリンスタンドの従業員にご確認ください。

### ■保管の危険性について

- ガソリンは、火災の発生危険が極めて高く、火災が発生すると爆発的に延焼擴大する為、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。
- 軽油は、大量に保管すると、火災の発生危険が高まるとともに、火災が発生すると、大規模な火災となる危険性が高い為、大量保管することは極力控えてください。

### ■保管について

- 40L未満のガソリン又は200L未満の軽油を、消防法令の基準に適合した容器で、保管することができます。
- 40L以上200L未満のガソリン又は200L以上1000L未満の軽油を保管する場合は、市町村の火災予防条例により、消防機関に届け出ることが必要となります。
- 200L以上のガソリン又は1000L以上の軽油を保管する場合は消防法により、市町村等の許可が必要です。

※総務省消防庁危険物保安室の指導により。

具体的な市町村長等の許可等の手続や市長村の火災予防条例については、お住まいやお勤め先のある自治体へお問い合わせ願います。

### ガソリン携行缶用補修部品

品番:FXOP-01



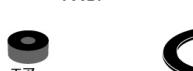
給油ノズル

品番:FXOP-02



エアーアジャストメント

品番:FXOP-03パッキンセット



エアーアジャストメント用  
給油ノズル用

品番:FXOP-04



長さ:約270mm

品番:FXOP-05



長さ:約560mm

販売元 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1  
株式会社コメリ TEL.025-371-4805

輸入元 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126  
大自工業株式会社 TEL.072-976-0101(代)

\*本製品の仕様及び装備・カラーは改良の為、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。 \*本製品は日本で企画・開発し、中国で製造しています。 MADE IN CHINA 051